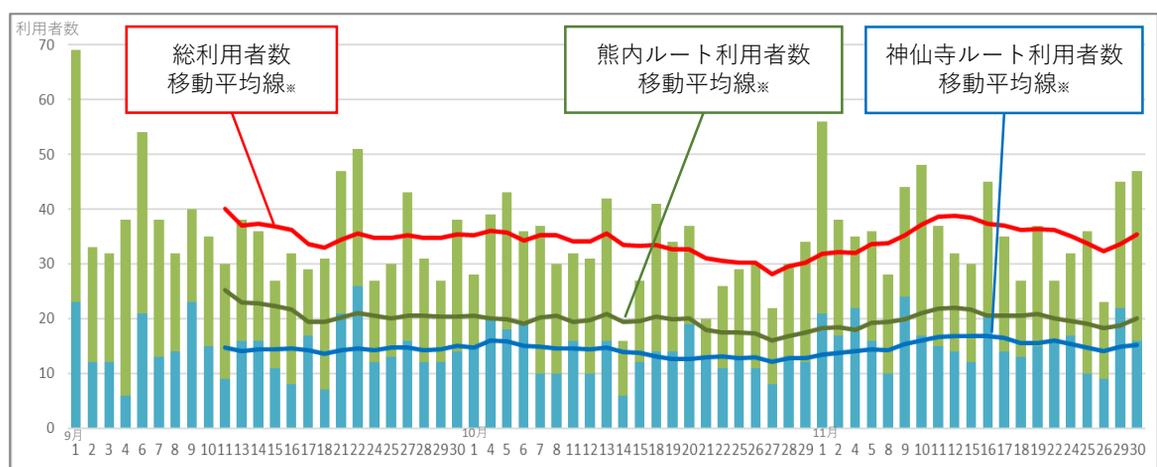




試験運行の結果報告

令和3年9月1日より三か月間実施しました中央区東部コミュニティバス「ふきあい南北バス」の試験運行結果をお知らせします。

■ 1日あたり利用者数：平均35人/日、目標の36.8%（目標95人/日）



※移動平均線…利用動向の大まかな推移を掴むため、9日前～当日の10日間の平均値を算出し線ですつないだもの。

目標には届かなかったものの、前回の試験運行のように利用状況が徐々に落ち込むことはなく、今回は期間中を通して、利用人数は1日30～40人で安定しておりました。また、ルート別では、熊内ルートをより多くご利用頂きました。（神仙寺ルート平均15人/日、熊内ルート平均21人/日）

「ふきあい南北バス」について各種調査を実施しました！

■試験運行期間中のヒアリング調査について

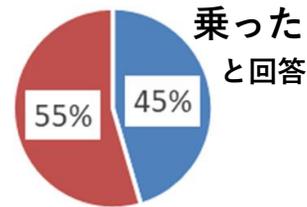
中央区東部の南北交通を考える会では、3ヵ月の試験運行期間中に、住民の皆様への周知状況、また利用意向や利用実績を調査するため、ヒアリング調査を実施いたしましたので、その結果を抜粋してご報告いたします。

調査対象：熊内町・中尾町・中島通・神仙寺通・籠池通にお住いの方 総回収数：126票

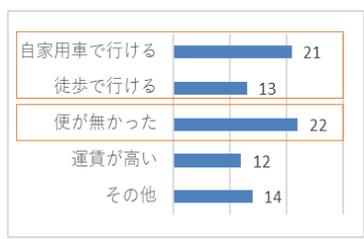
ふきあい南北バスについて
9割以上の方が
知っている
と回答



ふきあい南北バスに
4割以上の方が
乗った
と回答



- ▶（乗っていない方へ）
乗っていない理由は
①代替手段(車・徒歩)がある
②都合のいい便が無かった



各種調査結果（続き）

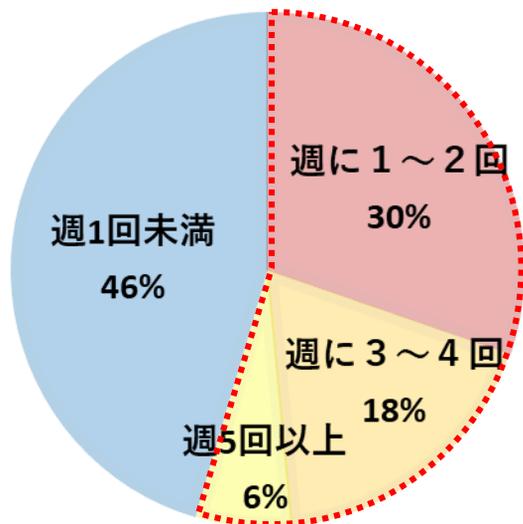
■利用者対象満足度調査について

ヒアリング調査と並行し、ふきあい南北バスご利用者を対象として、利用頻度や満足度について調査を行いました。その結果を抜粋してご報告いたします。

調査対象：「ふきあい南北バス」利用者 調査日：11/24（水）26（金）29（月）30（火） 総回収数：71票

▶利用頻度

半数以上の方が定期的に利用



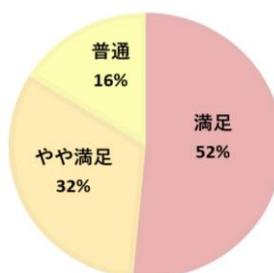
☞利用頻度は比較的高く、半数以上の方に日常にご利用をいただきました。

☞ルートや所要時間等の運行内容について、7割以上の方に高評価いただきました。

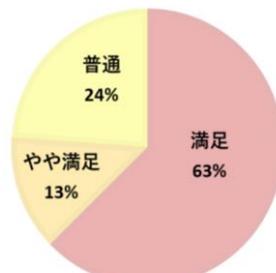
満足度調査（5段階評価）

▶運行内容（ルートや所要時間、便数等）について
普通～満足という回答が70%以上

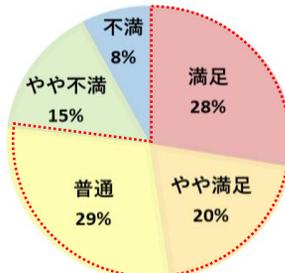
『ルート・停留所位置』



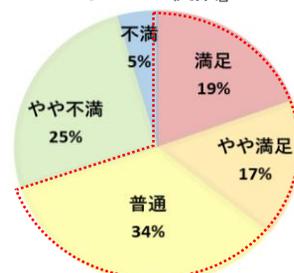
『目的地までの所要時間』



『運行時間帯』



『バスの便数』



■自由意見（一部）※ヒアリング調査・利用者満足度調査より抜粋

- ・普段は徒歩や自家用車を利用／市バスが充実している。（代替手段の充足について：11件）
- ・便数を増やして欲しい（市バス並みを希望）／早朝・夕方～夜の便が欲しい（時間帯・便数について：31件）
- ・敬老バスやICカードが使えるとよい（料金・支払方法について：10件）
- ・停留所がもっと増えたらいい。／神仙寺のミニコープの近くに停留所ほしい。（ルート・停留所について：24件）
- ・1年通して走ってほしい。／便利で助かっています。山へ行く楽しみが増えました。／早くて便利、このバスがあるから出かけようという気持ちになれた。／何度も利用。この先も続けてほしい（継続希望／感謝の声：53件）

今後の活動について

今回の試験運行の結果、残念ながら目標の達成状況は40%未満となりました。一方で、試験運行期間を通じて安定した需要があった事や、各種調査の結果から、運行内容については一定のご支持を頂いたものと考えております。運行継続を希望する声も多く、考える会としても、是非とも活動を継続していきたいと考えております。 今後はこの試験運行で得られた結果を基に、地域の需要に応じた適正な運行形態を検討していきます。